

ドイツ語の挨拶を知っていますか？

“**Guten Tag!**” この言葉を聞いたことがある方は多いでしょう。「こんにちは」という意味で、よく使うドイツ語の挨拶ですね。同じパターンの“**Guten Morgen**”（グーテンモルゲン：おはようございます）と“**Guten Abend**”（グーテンアーベント：こんばんは）もよく知られています。この三つの挨拶さえ覚えたら十分ドイツ人に挨拶できますが、それ以外の挨拶もたくさんあります！

実は、“**Guten Tag!**”は丁寧な表現で、知らない人や目上の人に使ってもいいですが、少し硬いイメージもありますので、友達などに使うと不自然です。いつでもだれにでも使える挨拶は“**Hallo**”（ハロー）です。英語の“**Hey**”（ヘイ）や“**Hi**”（ハイ）も特に若者に使われていて、日常生活でよく聞きます。

「いらっしゃいませ！」や「～へようこそ」など、人を歓迎するときに“**Herzlich Willkommen**”（ヘルツリッヒ・ヴィルコメン）といいます。お店の看板や町の案内板にもよく書いてあります。

別れるときにも色々な言葉がありますが、“**Tschüss**”（チュッス）が一番覚えやすいと思います。“**Auf Wiedersehen**”（アウフ・ヴィダセヘン）も有名ですが、少し硬く

て、古いイメージがあります。発音も難しいですね。意味の近い"**Bis bald**"（ビス・バルト＝またね）を代わりに使ってもいいですよ！

そして、地域によって、よく使う方言の挨拶もあります。例えば、観光地が多い南ドイツでよく聞かれるのは "**Servus**"（セルヴス）と "**Grüß Gott**"（グリュース・ゴット）です。ちなみに、"**Grüß Gott**"は英語の"**God bless you**"に似ていて、「神様」という言葉も入っていますが、キリスト教の信仰者ではない人も使います。北ドイツでよく使われている挨拶は"**Moin**"(モイン) です。「よい朝を」という意味なのに、朝だけではなく、昼や夜にも使いますよ！



仕事での挨拶

「お疲れ様！って、ドイツ語で何という？」と、よく聞かれています。その答えにはいつも少し困っています。「そういう表現はドイツ語にありません」と言えば正解ですが、職場でよく使う挨拶の言葉もあります！

例えば、“**Mahlzeit!**”（マールツァイト）という挨拶があります。直接日本語に翻訳すると「食事！」という意味で、昼休み中（ドイツはほとんど12時から13時まで）だけに使う挨拶です。由来は「おいしい昼ごはんを食べてください」という挨拶だそうです。

ちなみに、この挨拶は上司・部下関係なく使われていますが、自分の家族やお客様には使えません！面白い言葉なので、ちょっと残念ですね。

そして、同僚が帰る時に“**Schönen Feierabend!**”（シェーネン・ファイヤーアーベント）と言います。“**Feierabend**”は「退社時間」と「仕事の終わりから寝るまでの時間」、二つの意味があります。「自由の時間を楽しんでね！」という願いが入っている挨拶です。

そして、少し古いですが、伝統的な「職業の挨拶」もあります。例えば、狩人はお互いに“**Weidmannsheil!**”（ワイドマンズハイル）、漁師は“**Petri Heil!**”（ペトリハイル）という言葉で挨拶します。獲物が多かった時、“**Weidmanns/Petri Dank!**”と返事します。

一番有名な職業挨拶は“**Glück auf!**”（グルック・アウフ）という炭鉱夫の挨拶でしょう。「幸運を願っています。新しい道を切り開いてください」という長い挨拶の略だといわれています。炭鉱労働者の仕事が大変危険で、「無事に帰ってください」という願いも含まれているので、鉱坑の入り口にも書いてありました。現在は炭鉱労働者が少なくなってきたので、この挨拶を仕事の時に使うことはあまりありません。しかし、昔鉱山業が中心になっていた地域では、普通の挨拶としてまだ使われています。例えば、有名なサッカークラブの Schalke04 や Erzgebirge Aue の試合を見に行くと、スタジアムのアナウンサーも“**Glück auf!**”とお客さんに挨拶してくれます。